

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	21 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人聖風会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要				
(1)	[設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。		
(2)	[所在地]	台東区台東1-25-5		
(2)	[規模]	延床面積 21,236.85㎡のうち1,147.49㎡ RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど		
(3)	[委託事業]	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等） ②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：30名、認知症対応型デイサービス：12名）		
(3)	[自主事業]	自主事業は行っていない。		
(4)	[利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者		
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
(5)	[開館日・時間]	祝日を含む月曜日から土曜日（1月1日から1月3日を除く）午前8時30分～午後5時40分		
(6)	[人員体制]	21名 （内 訳）施設長(1)、生活相談員(2)、栄養士(1)←特養と兼務、機能訓練指導員(1)、事務職員(1)、介護職員(常勤2、非常勤9)、看護師(2)、運転手(非常勤3) （前年増減）		

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	2,263,000	2,263,000	2,537,000	2,537,000
	利用料金収入	97,874,000	92,095,136	90,664,000	87,192,549
	その他収入（ サービス区分間繰入金収入 ）	592,000	2,706,623	5,260,000	786,250
	計	100,729,000	97,064,759	98,461,000	90,515,799
支出	人件費	71,567,000	71,743,105	75,538,000	71,665,958
	光熱水費	6,900,000	7,638,119	7,659,000	8,017,513
	維持管理費（委託料・賃借料）	8,660,000	7,126,223	4,585,000	4,111,566
	修繕費	500,000	321,912	300,000	218,136
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ ファイナンス・リース債務の返済支出 ）	13,102,000	11,144,687	10,379,000	11,009,775
計	100,729,000	97,974,046	98,461,000	95,022,948	
収支			-909,287		-4,507,149

3. 活動指標		単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員(一般型デイサービス)	人	30	30	30	30	
定員(認知症対応型デイサービス)	人	12	12	12	12	

4. 成果指標		単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率(一般型デイサービス)	%	65	63.4	65.7	63.4	
利用率(認知症対応型デイサービス)	%	65	67.4	71.1	60.6	

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況					
—					

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者・職員のマスク着用や、送迎時の検温の実施等、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。また、必要な事項について適宜区との情報共有がされており、全般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	年度末に入院や長期欠席が増えたため、利用率は低下した。基準より多い人員配置をするとともに、法人内外の研修参加、施設内の勉強会を通しサービスの質の向上に努めるなど、全体的には良好な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の備品や機器については定期的な点検を行い、適宜修繕を行っている。また、利用者の帰宅後に職員がテーブル、介護用品等の消毒を実施し、浴室、送迎車両についても清掃・消毒を徹底しており、適切な維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設設置の意見箱の活用や利用者・ご家族からの意見・要望等を反映し、サービスの向上に努めている。満足度調査の結果、全体の94%以上の方が職員の態度や言葉使いについて「大変満足」・「満足」と回答するなど高評価を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	光熱水費の増と、介護報酬収入の減により収支はマイナスとなったが、法人で物品を一括購入するなど、経費削減に努めており、全体的には適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>施設内や送迎者の消毒を徹底するなど、安全に運営が行われており、満足度調査の結果も良好である。利用率の低下による赤字額の増等、収支状況に課題があるものの、全体的に適切に施設管理が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>労働環境モニタリングの指摘事項の改善と利用率向上が課題である。事業所の訪問など、新規利用者の獲得に取り組むとともに、経費の削減と合わせ収支改善の必要がある。</p>